



宮司つしす 第七十八号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十四年四月 三十日

◇宮司の柴田です。 境内の桜は、四月三日

の春の嵐にも、花びらを散らさずに、今年も花を咲かせました。一年に二回、葉を落とす楠、ようやく、やわらかい陽さしに、きらきらと、新緑も目に鮮（あざ）やかにになりました。 御神殿の東側では、うす紫色の藤の花、正面参道の西側には、白い藤の花が、今が盛りと咲いていますし、裏参道では、やがて、つつじが見頃を迎えます。 季節も、春から初夏へと、移ろいの速度を、少しはやめたようです。 とはいいながら、例年になく、朝夕の寒暖の差が激しく、ホットカーペットやストーブを仕舞い込まなかったのが、奏功（そうこう）している昨今、ぐずついた天候が続いていますよね。

◇花は、たとえ散つても、来年には花を再び咲かせる事ができますし、満月の月も、欠けても、ひと月後には、必ず満ちるのです。 しかし、私たちの人の命は、限りがあります。 今月は、車による悲惨な事故が相次いで起こりました。 京都の祇園、亀岡、埼玉、愛知では、車が、登校中の児童の列や花見の観光

客をはねる事故、さらには、群馬の、史上最悪のバス事故。 痛ましい事故ですよ。

当宮では、新車を購入されて、交通安全祈願のお願いをされる方が、いらつしやいます。交通安全祈願祭の祝詞（のりと）では、「たとえ、心は急ぐとも交通規則（こうつうのさだめ）を踏み違（たが）う事無く、安（やす）らげく穩（おだ）やかに、目的地（めあてのところに）に至（いた）らしめ給（たま）へ」と奏上（そうじょう）し、神様への仲取持（なかとりもち）をさせて頂いています。 これまで以上に、祈願祭を、さらに厳修（げんしゅう）しなければという思いを新たにしています。

◇防衛大学の村井教授は、「東日本大震災の中で多くの日本人を動かした絆（きずな）とは、運命共同体という意識だ」と仰（おっしゃ）っています。 絆という文字は、糸偏（いとへん）に半分と書きますが、語源は、布地（ぬのじ）の形成にあります。 布地は、たて糸とよこ糸が十字にしっかりと結び合（あ）って成り立ち、その結びつきが緩（ゆる）ければ、布地は、丈夫（じょうぶ）ではありませ

ん。 私共、日本人は、しっかりと結び合（あ）っている人間の集団だと思（おも）います。 それは、たて糸である「神様との縁（ゆかり）、祖先との縁（ゆかり）、血縁（けつえん）」、よこ糸である「地縁（ちえん）」によつて結ばれた集団なのです。 大

震災の際に、世界が称賛（しょうさん）した、自分を犠牲にして他人の幸福を願った、利他主義的（りたしゆぎてき）な、日本人の行動のバックボーン、いわゆる精神的な支えとなる思想、気骨（きこつ）は、日本に住む人全体が、一つの運命の下にあるという感覚ではないでしょうか。 それこそが、運命共同体意識であります。

◇前述（ぜんじゆつ）した悲惨な交通事故をはじめ、私共をとりまく世相（せそう）は、明るい光が、さしこめるような状況下（じょうきょうか）にはありません。 消費税や年金の諸問題、ことに、外交に至（いた）っては、独立国にはあるまじき政策であります。 今の政治が、「ガバナンス デフィシット（統治（と）うじ）の欠損（けつそん）」だと言われる所以（ゆえん）なのです。 さらに、その政治の主役である国会議員も、「ノブレス オブリージュ」という、「地位高ければ責任重（おも）い」という責務を果たしているようには思（おも）えな

いのであります。

◇「吐(は)く」という漢字は、「口」偏に「十(プラス)・一(マイナス)」で成り立っています。口から発せられる言葉には、積極的な前向きな明るい「プラス言葉」もあれば、消極的で悲観的な愚痴や不平不満の「マイナス言葉」もあるのです。世相の事を申し上げましたが、これは、明らかに、「一(マイナス)」の言葉でしたよね。人の心は見えませんが、見えない人の心を形にしたのが「言葉」であり、その言葉には魂が宿る「言葉(ことだま)」だと、我々の先祖は考えてきました。そうであるならば、積極的な前向きな明るい言葉には、きつと不思議な力が宿るはず。 「吐く」という漢字から、「一(マイナス)」を取り去ると、「叶(かなう)」という字になります。やはり、神様には、明るい未来の到来を祈り、そうなるよう努力する事をお誓いする、その敬神生活が、願いを叶えさせるのだと思います。

◇日本人全体が、運命共同体という意識を再認識し、利他主義的な行動を心掛け、前向きに積極果敢に取り組む事が出来るのではないで日本を前進させる事が出来るのではないのでしょうか。皆様もどうか、清く明るく正しく直く、前向きに過ごされ、思いや望みが叶う生活でありますようお祈り申し上げます。

◇四月の祭典行事報告

- ▼月次祭 * 四月一日、十五日
- ▼竹の子島金刀比羅宮例祭 * 四月七日〜八日
- ▼荒神社(六連島)例祭 四月九日
- ▼舟島祭 * 四月十四日
- ◆ 舟島神社例祭
- ◆ 巖流佐々木小次郎剣客慰霊祭
- ※武蔵との決闘より四百年



▼朝粥会 * 四月二十一日

▼戦没者慰霊祭 * 四月二十二日



▼南風泊小型機船底引網漁協大漁祈願祭

* 四月二十五日

▼昭和祭 * 四月二十九日

◇五月の祭典行事予定

- ▼月次祭 * 五月一日、十五日
- ▼塩釜祭 * 五月五日
- ▼稲浦金刀比羅宮例祭 * 五月十九日〜二十日
- ▼朝粥会 * 五月二十一日

◇四月の宮司の行事会議等活動報告

▼当宮関係団体

- ◇維蘇志会監査会 * 四月三日
- ◇維蘇志会総会 * 四月四日
- ◇敬神婦人会総会 * 四月十五日
- ▼山口県神社庁、同下関支部関係
- ◇山口県総代会研修会 * 四月四日
- ◇全国植樹祭天皇皇后両陛下奉迎実行委員会 * 四月六日、二十六日

◇下関支部研修会 * 四月九日

◇山口県神社庁役員会 * 四月十二日

◇支部三役会 * 四月十四日

◇支部幹事会 * 四月十六日

◇下関神社雅楽会奉納演奏会

* 四月十七日

※当宮にて開催

◇山口県八幡宮会役員会 * 四月二十六日

◇支部聞く会 * 四月二十七日

▼西ロータリークラブ

◇例会 * 四月十一日、十八日、二十五日

◇メーカーヤップ * 四月六日、二十三日

▼倫理法人会モーニングセミナー

* 四月十一日、二十五日

▼人権擁護委員活動

◇下関協議会総会、自主研修 * 四月二十六日

▼その他

◇迫町自治会組合長会議 * 四月二十一日